

第22回 硬組織再生生物学会 学術大会

場所：鶴見大学歯学部記念館

2013年8月22日（木）

演題募集要領

1. 一般事項

後掲の「演題抄録 作成例」を参考に、演題名、発表者名、所属、連絡先、発表形式等を記入して、下記の学会準備委員会事務局宛にお送り下さい。本大会も昨年と同様に**優秀なプレゼンテーションの表彰**を行います。“口演”と“ポスター”の各演題から1～3演題程度を表彰する予定です。

特に若い先生方は奮ってご応募お願い致します。

2. 発表形式

演題は下記の2通りを用意致します。**第1希望の発表形式を抄録に記載**して下さい。

演題数によってはご希望に添えない事もあります。その場合、発表形式の決定は事務局に一任下さい。

1. **口演発表演題**：発表時間7分＋質疑応答3分＝計10分を予定しております。

液晶プロジェクター1台（パワーポイントで作成願います）

2. **ポスター演題**：自由討論時間として1時間を予定しております。

横180cm×縦120cm程度のスペースを予定しております。

発表要領の詳細は各演者の先生にご連絡申し上げます

3. 抄録記載要領 見本を後掲

1. 和文演題名、発表者名、所属（代表発表者に下線）
2. 和文300字以内の発表内容の要旨（目的、方法、結果、考察等簡潔明瞭に）
3. 英文の演題名、発表者名（フルネーム）、所属
4. 英文100 words程度の発表内容の要旨（和文の内容と一致させて下さい）
5. 連絡先（住所、電話番号、e-mail アドレス）
6. 希望する発表形式（口頭かポスター）

4. 申し込み方法

e-mail で nomoto-r@tsurumi-u.ac.jp まで3. 抄録記載要領の1~6をMS wordの添付書類として送付ください。

なお、3日後までに受領の返信がない場合には同e-mailまで再度ご連絡下さい。

5. 問い合わせ先

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3 鶴見大学歯学部歯科理工学講座

第22回 硬組織再生生物学会 学術大会準備委員会

準備委員長：野本 理恵 電話：045-580-8368（直通）

6. 締切期日

* 2013年6月22日（土）

7. 理事会

2013年8月21日（水）15:00～

場所：鶴見大学歯学部附属病院 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

理事懇親会 8月21日（水）18:30～ *事前にご案内申し上げます。

見本 (3. 抄録記載要領)

演題抄録 作成例

Ca 錯体から合成したアパタイトと PLGA との多孔質複合体の骨形成について

早川 徹¹, 望月千尋², 原 広樹², 佐藤光史²

¹ 鶴見大学歯学部歯科理工学

² 工学院大学工学部配位工学

EDTA-Ca 錯体より安定度定数の小さいイミノ二酢酸-Ca 錯体, アスパラギン酸-Ca 錯体を用いて, 高収率で低結晶性アパタイト(HA)および高結晶性 HA を合成した. さらに, この HA と PLGA との多孔質複合体を調整して, ウサギ脛骨に埋入して 12 週間後の骨形成について検討した. その結果, 高結晶性 HA 含有 PLGA 複合体では PLGA の分解と HA の残存が確認され, 一部で新生骨形成が見られた. 低結晶性 HA 含有 PLGA 複合体では, PLGA の残存が観察されたが, HA は消失していた. 以上の結果から, PLGA の分解性, HA の溶解性が骨形成に影響を与えることが判明した.

Bone response towards porous composites between PLGA and apatite prepared from calcium complexes

Tohru Hayakawa¹, Chihiro Mochizuki², Hiroki Hara², Mitsunobu Sato²

¹ Department of Dental Engineering, Tsurumi University School of Dental Medicine

² Coordination Engineering Laboratory, Faculty of Engineering, Kogakuin University

Apatite (HA) with lower or higher crystallinity was prepared in higher yield from iminodiacetic acid-Ca and aspartic acid-Ca complexes which had lower stability constant than EDTA-Ca complex. Porous composites between HA and PLGA were obtained and were implanted into the cortical bone of rabbit tibiae. Bone formation after 12 weeks of implantation was evaluated. PLGA composite with higher crystallinity HA showed the residue of degraded PLGA and remaining apatite. A new bone formation was partly identified. PLGA composite with lower crystallinity HA exhibited the remaining of PLGA and disappearance of HA. It is concluded that the degradation of PLGA and solubility of HA influenced the new bone formation.

連絡先: 早川 徹

〒230-8501

横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

鶴見大学歯学部歯科理工学講座

e-mail: hayakawa-t@tsurumi-u.ac.jp

希望する発表形式: 口頭

鶴見大学 アクセスマップ

